



詳しい内容は、市ホームページ
で読むことができます。

小川工業高校「ものづくり支援地域プロジェクト」 地域とつながるものづくり

4/19 小川工業高校で、卒業生が製作したイ
ノシン捕獲用箱わなとグラウンド整備用トンボ、
機械工作部の生徒たちが修理を行った遊具が、依
頼者のくまもと☆農家ハンター、豊野中学校、大
空保育園に引き渡されました。同校は、ものづく
りで地域に貢献しようと、昨年からもものづくり地
域支援プロジェクトに取り組んでいます。

機械工作部部長の吉田竜聖さん(17)は「自分た
ちの勉強になり、地域との連携を図ることもでき
る。今後も先輩に負けないように地域に貢献して
いきたい」と話しました。



生徒たちの力作が無事に引き渡されました

ほうようえん 豊洋園の地域貢献事業

買い物が不便な高齢者を支援



ゆっくりと買い物ができて笑顔の参加者

3/17 介護老人福祉施設の豊洋園＝三角町＝
は、地域貢献事業として配食サービスや安否確認
事業、買い物が不便な1人暮らしや高齢者夫婦を
支えるための買い物支援事業を行っています。

この日は買い物支援事業を利用して三角町の高
齢者6人が、松橋町の商店で買い物を楽しみまし
た。参加者からは「自宅の近くには商店がなく不
便。自宅まで送迎してくれるこのような支援はと
てもありがたい」と喜びの声が聞かれました。次
回は6月に予定されていて、同園では参加者を募
集しています。 圖 豊洋園 西村 ☎54-1100

NPO法人認知症を考える市民の会 5周年 認知症を考える講演会



ディスカッションでは活発に意見が交わされました

4/21 ウイングまつばせで NPO法人「認知症を
考える市民の会」5周年記念講演会が開催されま
した。この日の講演会には、会員など78人が参加。

第1部では、医師で、同会の代表でもある白石
秀臣さん(97)＝益城町＝による「私と認知症と生
きる人々」と題した記念講演が行われました。

続いて第2部では、参加者によるディスカッ
ションが行われ「介護する側が、自分ができない
部分を誰かに頼ることも大事」「患者だけでなく家
族も状況を受け入れると少し楽になる」など、活
発な話し合いがされていました。

生産者が小・中学校へデコポンを贈呈 地元の味を給食で

4/15 市の特産品「デコポン」のおいしさを子
どもたちに伝えようと、JA 熊本うき柑橘部会(高
濱義孝部会長)の三角地域連絡協議会が、三角町
の小・中学校にデコポン約100*を贈りました。
同部会は毎年この贈呈を行っています。

三角中学校で行われた贈呈式では、高濱部会長
が「おいしく味わって農業について理解を深めて
もらえたら」と話しました。この日は、同部会不
知火地域連絡協議会と JA 熊本うきトマト専門部
会不知火支部も不知火町の小・中学校へデコポン
とトマトを贈呈し、給食で振る舞われました。



三角中学校で行われたデコポンの贈呈式

学校給食センター起工式 2021年の完成後は県内最大規模の学校給食センターに

4/22 松橋町豊崎の建設予定地で、市学校給食
センターの起工式が執り行われました。市関係者
や施工業者など約70人が参加し、工事の安全を
祈願しました。守田憲史市長は「新しいセンター
で安全な給食の提供や食育の推進を目指してい
く」とあいさつ。同センターは、現在の不知火・
松橋・豊野の3つの学校給食センターを統合して
新設するものです。最大4,500食を供給でき、ア
レルギー食対応のための専門調理室、食育のため
の調理作業工程見学スペースや、災害時でも調理
や炊き出しが可能な機能を備えています。



守田市長は「安全・安心な給食を提供する」とあいさつ

九州電力がIH クッキングヒーターを市へ贈呈 地域のコミュニケーションの場に



贈呈式後には早速調理をしました

4/17 電気で調理するIH クッキングヒーター
が、九州電力株式会社宇城営業所から市の小川公
民館へ贈呈されました。宇城市では、三角町の郡
浦地区市民館に続いて2カ所目。守田憲史市長に
目録を手渡した服部剛所長は「地域のコミュニ
ケーションの活性化につなげてほしい」と述べ、
守田市長は「たくさんの方に使ってほしい」と
謝辞を述べました。

参加した小川町地域婦人会の平岡京子さん(67)
は「IH クッキングヒーターをみんなが健康で笑顔
になれる場づくりに活用したい」と話しました。